

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第42週[10月17日～10月23日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

レプトスピラ症について

2003年11月の感染症法一部改正により4類感染症となり、それ以降高知県では2009年に1例報告されていた。今年に入り幡多で9月に1例報告され、今回新たに同地域で3例の感染者が発生したことが分かった。

病原性レプトスピラ感染に起因する人獣共通の細菌(スピロヘータ)感染症である。病原性レプトスピラは保菌動物(ドブネズミなど)の腎臓に保菌され、尿中に排出される。ヒトは、保菌動物の尿で汚染された水や土壌から経皮的あるいは経口的に感染する。急性熱性疾患であり、感冒様症状のみで軽快する軽症型から、黄疸、出血、腎障害を伴う重症型(ワイル病)まで多彩な症状を示す。レプトスピラ症の流行地域では不用意に水に入らないこと、特に洪水のあとには絶対に入らないことが予防には重要である。

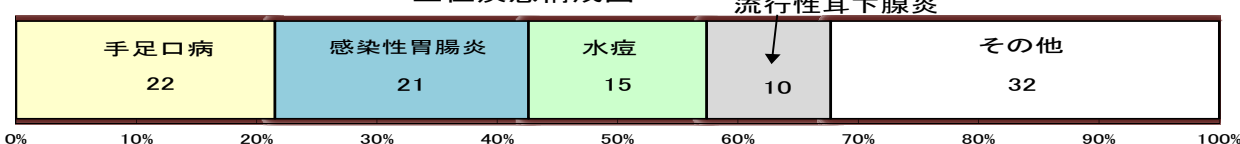
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患: マイコプラズマ肺炎

- ・ 今週は再び日中の気温が上昇し、朝晩の気温差が10℃以上になる日もあった。
- ・ **手足口病(高幡:注意報→警報, 幡多:注意報→注意報, 安芸:警報→注意報)**は総数は減少し注意報値を下回ったが、高幡と中央西で増加した。特に高幡では警報値を越す流行となっている。
- ・ **感染性胃腸炎**は低いレベルで推移しているが、定点からのコメントではカンピロバクター腸炎が複数報告されている。搬入された検体からも *Campylobacter jejuni* が検出されている。手洗い・うがいに加えて、食品の加熱を十分に行うなどの予防が重要である。
- ・ **水痘(中央西:警報)**は総数はやや減少したが、中央西では大幅に増加し警報値を越した。例年、7～9月にかけての夏季は低いレベルで推移するが、その後は増加するので注意が必要である。
- ・ **流行性耳下腺炎(幡多:注意報, 中央西:注意報)**は総数は再び増加し、幡多と中央西で注意報値を越した。前週は減少したが、増加傾向となっており今後の推移が注目される。

上位疾患構成図



地域別感染症注意報・警報発生状況

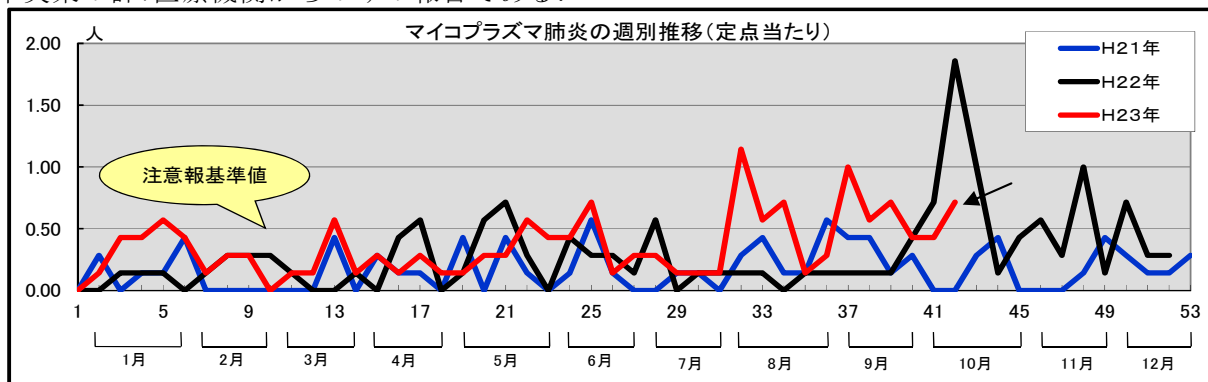
第42報 (2011年10月17日～2011年10月23日)



マイコプラズマ肺炎：今週 0.71 (注意報値：0.50 警報値：2.00)

前週分で高知市から3例追加報告された。今週は引き続き高知市から3例、さらに幡多から2例報告された。搬入された検体からは*Mycoplasma pneumoniae* が5件検出された。そのうち1件は保育所での集団発生であることも検査依頼票に記載されており、今後も十分な注意が必要である。

※マイコプラズマ肺炎は基幹定点医療機関の届出対象疾患であり、高知市（5医療機関）・幡多・中央東の計7医療機関からのみの報告である。



インフルエンザ：今週 報告なし (注意報値：10.00 警報値：30.00)

今週は定点報告はなかったが、学校欠席者情報収集システムによると、県中部で計6名がインフルエンザと診断され出席停止となっている。例年11月に入ると報告が増加し始め、流行のピーク向かって急増するため、日頃の手洗い・うがいを心がけ、計画的にワクチン接種を行い、予防してほしい。

検査情報

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
42	感染性胃腸炎	15歳 男	中央東	<i>Campylobacter jejuni</i>
42	マイコプラズマ肺炎	5歳 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
42	マイコプラズマ肺炎	12歳 男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
42	マイコプラズマ肺炎	4歳 女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
42	百日咳	2歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
42	マイコプラズマ肺炎	5歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
42	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12歳 女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12

前週以前に搬入され検出された病原体

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況	備考
36	ヘルパンギーナ	1歳 男	高知市	Adenovirus 6	
35	無菌性髄膜炎	1か月 女	中央東	Coxsackievirus B1	違検体から検出 (Rhinovirus: 39週)
41	急性気管支炎	4か月 女	高知市	Respiratory syncytial virus	
41	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7歳 男	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1	

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 6例（50, 80代男, 90代女）《須崎》（30, 60, 70代男）《高知市》（今年156例）

○ **定点からの地域ホット情報**

幡多：

《さたけ小児科》：マイコプラズマ感染症 3例（4, 13歳女, 7歳男）

高幡

《もりはた小児科》：マイコプラズマ肺炎 2例（2, 5歳女）

カンピロバクター腸炎 1例（1歳女） カンピロバクター腸炎 2例（41週）

中央西

《石黒小児科》：带状疱疹 1例（7歳男）

《くぼたこどもクリニック》：マイコプラズマ感染症 1例（8歳男）

水痘の2例（3歳男, 4歳女）は予防接種済み

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：マイコプラズマ肺炎 6例（10～16歳男女, 28, 30歳女）

カンピロバクター腸炎 1例（1歳女）

中央東：

- 《吉本小児科皮膚科》：カンピロバクター腸炎 1例（15歳男）
《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 1例（4歳）
《野市中央病院小児科》：カンピロバクター腸炎 1例（9歳男）

全国情報第40週（10/3～10/9）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核372例

3類感染症：細菌性赤痢5例、腸管出血性大腸菌感染症91例（有症者67例、うちHUS なし）

4類感染症：A型肝炎3例、デング熱2例、日本紅斑熱2例、日本脳炎1例、レジオネラ症27例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎（B型）2例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、後天性免疫不全症候群13例（AIDS 3例、無症候10例）、ジアルジア症2例、梅毒11例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん2例、麻しん2例

報告遅れ：デング熱2例、日本紅斑熱2例、マラリア2例、レプトスピラ症1例、急性脳炎1例

◆定点把握の対象となる5類感染症

インフルエンザ

定点当たり報告数は第35週以降増加が続いている。都道府県別では沖縄県（1.97）、佐賀県（0.46）、山口県（0.39）、愛媛県（0.30）が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,969例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別では徳島県（1.00）、福岡県（0.38）、奈良県（0.34）が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では北海道（1.88）、富山県（1.76）、大分県（1.72）が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では大分県（5.7）、宮崎県（5.5）、山口県（4.7）、福井県（4.7）が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県（1.64）、宮城県（1.31）、青森県（1.24）が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）と比較してかなり多い。都道府県別では宮城県（5.6）、島根県（4.5）、福島県（3.4）、鳥取県（3.4）が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では徳島県（0.96）、福島県（0.42）、宮崎県（0.36）が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では鳥取県（0.11）、千葉県（0.09）、福岡県（0.09）、佐賀県（0.09）、沖縄県（0.09）が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別では山形県（1.83）、愛媛県（1.49）、福井県（1.41）が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では愛媛県（2.51）、佐賀県（2.48）、鳥取県（2.32）が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛知県（3.15）、埼玉県（2.89）、岐阜県（2.80）、沖縄県（2.43）が多い。

◆インフルエンザウイルス2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の第36週と第39週にAH3亜型、第39週と第40週にB型が報告されている。

2011年第36～40週の累積では、AH3亜型が2県から7件、B型/山形系統株が大阪府で1件、B型/系統不明株が茨城県から5件報告されている。

直近の2011年第36～40週の5週間ではAH3亜型が第36週に神奈川県で5件（成人の通所施設での集団発生）、第39週に山口県で2件、B型/山形系統株が第39週に大阪府で1件（インフルエンザ定点の散发例）、B型/系統不明株が第40週に茨城県で5件（小学校での集団発生）報告されている。

◆麻疹ウイルス2011年

2011年1～10月に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、香川県、福岡県の14都府県から120件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(41週)	高知県(42週末累計) H23/1/3~H23/10/23
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ								1 (0.02)	296 (0.06)	12,339 (257.06)
小児科	咽頭結膜熱									411 (0.13)	315 (10.50)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	4	1		4	15 (0.50)	23 (0.77)	2,662 (0.85)	1,863 (62.10)
	感染性胃腸炎	5	12	23	2	1	4	47 (1.57)	32 (1.07)	8,229 (2.63)	6,650 (221.67)
	水痘	2	3	7	17	3	1	33 (1.10)	35 (1.17)	1,861 (0.59)	1,546 (51.53)
	手足口病	4	3	11	5	13	12	48 (1.60)	67 (2.23)	4,574 (1.46)	3,156 (105.20)
	伝染性紅斑		1	4	4	2	7	18 (0.60)	16 (0.53)	588 (0.19)	394 (13.13)
	突発性発疹		1	8	1	2	2	14 (0.47)	12 (0.40)	1,606 (0.51)	603 (20.10)
	百日咳					1		1 (0.03)	1 (0.03)	102 (0.03)	28 (0.93)
	ヘルパンギーナ		2	2	4	1	1	10 (0.33)	7 (0.23)	830 (0.27)	905 (30.17)
	流行性耳下腺炎			5	6		12	23 (0.77)	6 (0.20)	1,882 (0.60)	348 (11.60)
	RSウイルス感染症	1	2	5				8 (0.27)	8 (0.27)	1,731 (0.55)	606 (20.20)
眼科	急性出血性結膜炎									83 (0.12)	1 (0.33)
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	1 (0.33)	317 (0.47)	42 (14.00)
基幹	細菌性髄膜炎									14 (0.03)	4 (0.57)
	無菌性髄膜炎								1 (0.14)	25 (0.05)	22 (3.14)
	マイコプラズマ肺炎			3			2	5 (0.71)	3 (0.43)	565 (1.23)	107 (15.29)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									9 (0.02)	8 (1.14)
計 (小児科定点当たり人数)	13 (6.50)	29 (4.14)	73 (6.27)	40 (13.33)	23 (11.50)	45 (8.60)		223 (7.23)			
前週 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	26 (3.71)	95 (8.15)	19 (6.33)	16 (8.00)	41 (8.20)			213 (6.92)	25,785	28,937 (804.20)

定点当たり

第42週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(41週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ								0.02	0.06
小児科	咽頭結膜熱									0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.71	0.36	0.33		0.80	0.50	0.77	0.85
	感染性胃腸炎	2.50	1.71	2.09	0.67	0.50	0.80	1.57	1.07	2.63
	水痘	1.00	0.43	0.64	5.67	1.50	0.20	1.10	1.17	0.59
	手足口病	2.00	0.43	1.00	1.67	6.50	2.40	1.60	2.23	1.46
	伝染性紅斑		0.14	0.36	1.33	1.00	1.40	0.60	0.53	0.19
	突発性発疹		0.14	0.73	0.33	1.00	0.40	0.47	0.40	0.51
	百日咳						0.50	0.03	0.03	0.03
	ヘルパンギーナ		0.29	0.18	1.33	0.50	0.20	0.33	0.23	0.27
	流行性耳下腺炎			0.45	2.00		2.40	0.77	0.20	0.60
	RSウイルス感染症	0.50	0.29	0.45				0.27	0.27	0.55
眼科	急性出血性結膜炎									0.12
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.33	0.47
基幹	細菌性髄膜炎									0.03
	無菌性髄膜炎								0.14	0.05
	マイコプラズマ肺炎			0.60			2.00	0.71	0.43	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)	6.50	4.14	6.27	13.33	11.50	8.60	7.23			
前週 (小児科定点当たり人数)	8.00	3.71	8.15	6.33	8.00	8.20		6.92		

2011年週報推移(定点当たり)

